

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公開番号】特開2013-127699(P2013-127699A)

【公開日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【年通号数】公開・登録公報2013-034

【出願番号】特願2011-276947(P2011-276947)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/10 (2012.01)

A 42 B 3/00 (2006.01)

G 01 B 3/20 (2006.01)

A 41 H 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 1 1 8

A 42 B 3/00

G 01 B 3/20 1 0 1 Z

A 41 H 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月11日(2014.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

上記ヘルメットサイズの選定された種類と上記パッドの選定された形態とをそれぞれ表示する工程をさらに備えていることを特徴とする請求項1～5のうちのいずれか1つに記載の選定方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

請求項1～3、6および7のうちのいずれか1つに記載の選定方法を用いてヘルメットのサイズを調整する方法において、

上記選定されたパッドの形態に基づいて、少なくとも1種類の追加パッドを上記センターパッドに配置することを特徴とする調整方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

請求項1～3、6および7のうちのいずれか1つに記載の選定方法に用いる頭部サイズ測定具であって、

ヘルメット着用者の頭部の前後長サイズ、左右幅サイズおよび上頭部高さサイズを少なくとも測定することができる頭部サイズ測定具において、

第1の測定具片と、この第1の測定具片に対して相対的に往復動可能である第2の測定具片と、上記第1または第2の測定具片に対して相対的に往復動可能である第3の測定具片とを備え、

上記第1の測定具片を上記頭部の前側面または後側面に当接させるとともに上記第2の測定具片を上記頭部の後側面または前側面に当接させた第1の当接状態において、上記第1の測定具片に対する上記第2の測定具片の相対的な往復動位置によって、上記前後長サイズを測定し得るように構成し、

上記第1の測定具片を上記頭部の左側面または右側面に当接させるとともに上記第2の測定具片を上記頭部の右側面または左側面に当接させた第2の当接状態において、上記第1の測定具片に対する上記第2の測定具片の相対的な往復動位置によって、上記左右幅サイズを測定し得るように構成し、

上記第1および第2の測定具片の上記第2の当接状態において上記第3の測定具片を上記頭部の頭頂部に当接させた第3の当接状態において、上記第1または第2の測定具片に対する上記第3の測定具片の相対的な往復動位置によって、上記上頭部高さサイズを測定し得るように構成したことを特徴とする頭部サイズ測定具。